

里山からの次世代創成

多様な人々の交流・学習・実践の推進と保全活用による地域回帰人材育成

大正大学専任講師 出川 真也
地域創生学部2年 佐藤絵里花

1. はじめにー趣旨と課題ー

- (1) 農山村における地域活性化とは
- (2) 住民の学習・実践活動を基盤とした取組の方法と可能性
- (3) 交流活動の創出を契機とした次世代育成の方法と可能性
- (4) 全国の事例をみながら、地域視点・大学視点・学生視点の3視点から考える

2. 事例紹介

事例1 山形県北部の山村集落の試み

- (1) 地元学（地域の環境文化調査）
- (2) 地域運営学校「里の学校」へ
山・川・食・農・ものづくり・民話・民泊・高校生ボランティア
- (3) ツーリズムへの展開
- (4) 里地里山の地域と連携する活動作りのポイントとは？

事例2 里山における幼児教室ーNPO 大地（長野県飯綱町）の取組みー

- (1) 耕作放棄地や里山を緩やかに保全管理
- (2) 里山を利用した幼児子ども教室を開園
- (3) 意識の高い若手世代層が地域に移住し地域活性化

事例3 生きものを利活用した地域づくり

- ・里地里山の生きものをシンボルにした地域ブランドの創出
- (1) 産品開発
- (2) エコツーリズム
- (3) 環境教育

事例4 「里なび」「里山なび」-里山活動情報の有効利用-

- ・さまざまな保全活用の技術的方策から取組み考える

事例5 大学や若者たちとの交流と地域づくり

・地域創生における教育・人材育成の意味

(1) 地域創生の授業「地域回帰論Ⅰ」

(2) 個々の学生たちによる学習・実践

1) 大自然の中で地域と学びを結ぶ勇者たち

- 黒松内ぶなの森自然学校でのスタッフとの出会いと経験から -

2) 人と人をつなぐ「おぶせまちじゅう図書館」のまちづくり

- 本・学習施設・商店のネットワークによる地域活性化の試み -

3) 地方も！都市も！すべてをつなぐ自然体験

- みらい館大明・NPO 法人としま NPO 推進協議会実習報告 -

4) 地域を学んで内外にコミュニティを広げる

- 豊島区 地域エリアガイドボランティア事業 -

5) おやじ達の背中から学んだコミュニティづくり

- 退職男性グループ「おやじ連」の活動から -

(3) 研究室・学生グループ・地域組織による研究・実践

1) 栗島しおかぜ地域共生プログラムの実践研究（新潟県栗島浦村）

- 高齢者のお手伝いプログラムを軸とした観光・産品開発・首都圏連携活動の創出 -

2) 地域青年会との協働による若者地場生業の創出（新潟県阿賀町）

- 青年会・高校生・都市部大学生の協働による新たなムラづくり挑戦 -

3. 学生地域回帰に向けた研究と実践 - 由利本荘出身 佐藤絵里花の挑戦 -

(1) 域学連携

(2) 学生運営アンテナショップ 座ガモールの取組

(3) としまぐらし会議

(4) 秋田プロジェクト

(5) 私の「地域回帰」計画の視点

4. おわりに

取組を広げ活性化するためのアイデアと手法を考えつづけるために

(1) 地域資源と人の発掘、内外のかかわりの創出

(2) ネットワーク型の学びの推進

(3) 持続・継続可能なアイデアと生業作り